

調査研究の概要

鹿児島県総合教育センター

全体研究主題

生きる力を豊かに育てる 学校教育の創造

生きる力

確かな学力

健康・体力

豊かな人間性

バランスよく

意図的・計画的な教育活動

3

これまでの調査研究の経過

生きる力を豊かに育てる学校教育の創造

特色ある学校

信頼される学校

開かれた学校

学校組織の活性化
授業の充実

学校の教育力の向上

教育課程の充実
学校評価の推進

学習指導力

職務遂行力

教職員の資質能力の向上

生徒指導力

コミュニケーション能力

4

調査研究の視点と推進体制

研究主題

研究の視点

生きる力を豊かに育てる学校教育の創造

ア 学力向上を図る授業の充実

イ 豊かな心や健やかな体の育成を図る指導の充実

ウ 生きる力を豊かに育てる教育課程の充実

エ 教職員の資質能力の向上

オ 社会の変化への適切な対応

各課の研究

■教科教育研修課 (H23-H24)

■教育相談課 (H23-H24)

■教職研修課 (H24-H25)

■情報教育研修課 (H24-H25)

■特別支援教育研修課 (H24-H25)

プロジェクト研究

「みんなで取り組み、学び合う授業研究」の進め方 (H24-H25)

5

教科教育研修課の研究

(平成23・24年度)

思考力・判断力・表現力を育成する指導と評価に関する研究

研究のねらい

思考力・判断力・表現力を適切に評価する方法や、評価結果を生かした具体的な授業改善の方策を明らかにする。



6

教育相談課 の研究 (平成23・24年度)

自己指導能力の育成に向けた生徒指導の在り方に関する研究 ～「学校楽しいーと」を活用した効果的な働き掛けを通して～

研究のねらい

「学校楽しいーと」を活用した、いじめや不登校、問題行動等の未然防止、早期発見、早期対応など、生徒指導の在り方を明らかにする。



教職研修課 の研究 (平成24・25年度)

教職員のニーズを踏まえた効果的・効率的な研修の構築に関する研究Ⅱ



研究のねらい

教職員の資質能力の向上を目指して、教育的ニーズや教育の動向等を踏まえ、教職員研修の充実を図る。

研究内容

- 研修者の評価や指導者の反省等を基にした研修効果等の分析とPDCAサイクルによる研修の改善
- 経験年次別研修を充実させる学校の指導体制の在り方

情報教育研修課 の研究 (平成24・25年度)

情報活用能力の育成に関する研究 ～児童生徒のICT活用を通して～



研究のねらい

児童生徒のICT活用を通して、情報活用能力を育成するための指導の在り方を明らかにする。

研究内容

- 情報活用能力育成についての各学校の実態や課題の把握と分析
- 教科等におけるICTを活用した情報活用能力育成の授業モデルの作成

特別支援教育研修課 の研究 (平成24・25年度)

特別支援学校における一貫性・系統性のある指導の在り方に関する研究

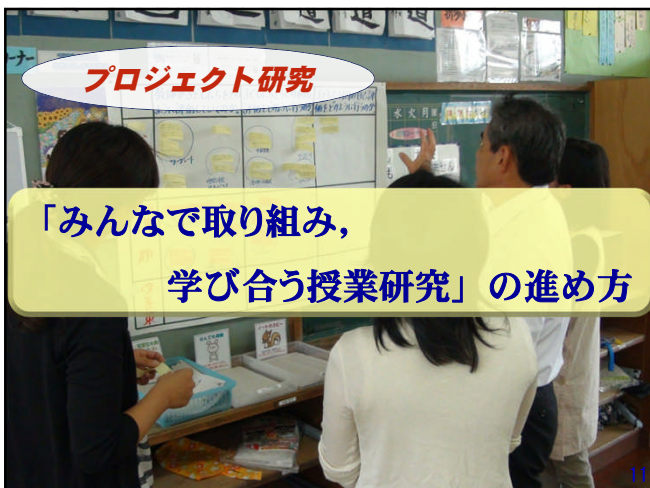


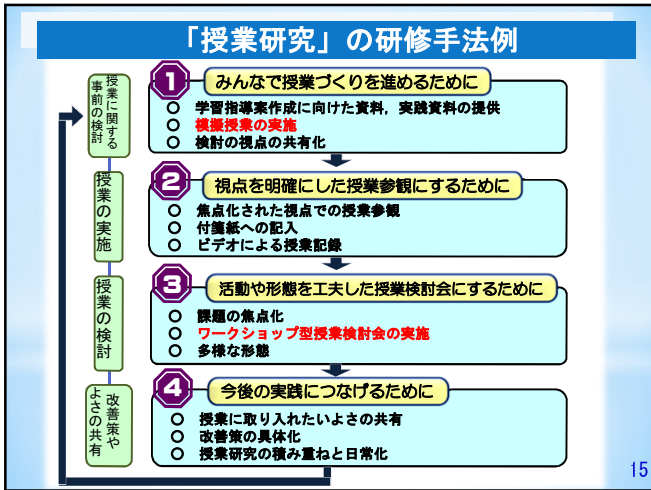
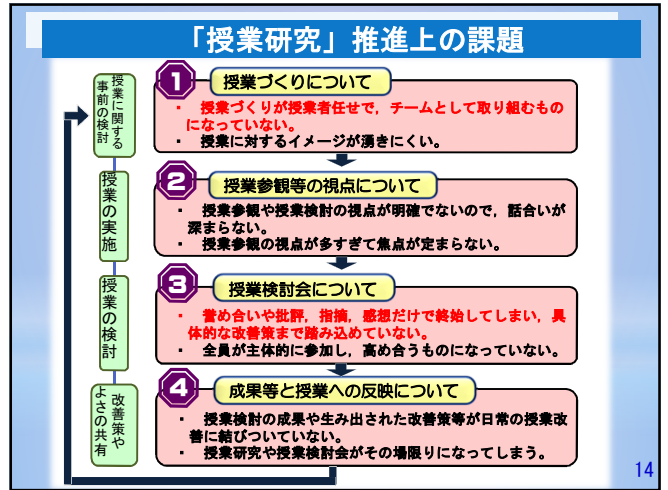
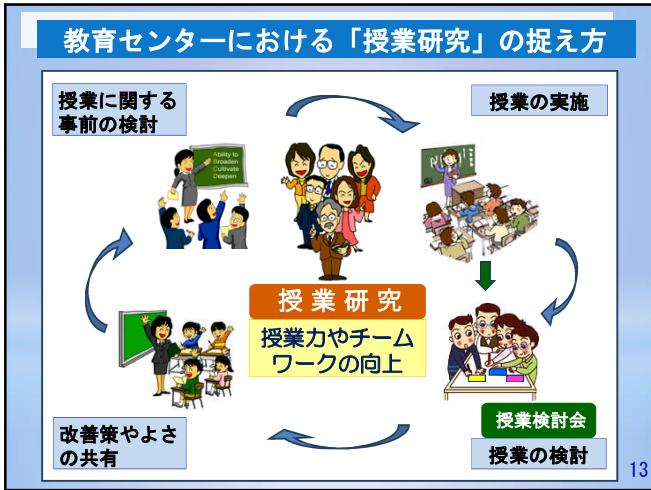
研究のねらい

幼稚園、小学部、中学部、高等部の指導の一貫性や各教科等の系統性を踏まえた指導の在り方を明らかにする。

研究内容

- 幼児児童生徒の学習評価や教師の指導の評価、授業づくりに関する現状と課題の把握
- 一貫性・系統性のある指導を目指した授業づくりの視点の作成





「授業研究」の研修手法例

パンフレット

CD

16

「授業研究」の研修手法例 1

- 1 みんなで授業づくりを進めるために**
 - 学習指導案作成に向けた資料、実践資料の提供
 - 模擬授業の実施
 - 検討の視点の共有化

チームとして取り組む授業にするために、模擬授業を行い、授業のイメージをつかみたい。

17

「授業研究」の研修手法例 2

- 3 活動や形態を工夫した授業検討会にするために**
 - 課題の焦点化
 - ワークショップ型授業検討会の実施
 - 多様な形態

全員が主体的に参加し、グループで互いに高め合う活動的な授業検討会にしたい。

	学習活動	指導上の留意点	評価
導入
展開
終末

成果や課題等を書いた付箋紙をワークシートに貼りながら話し合う手法

18

本年度の研究について



19

本年度のプロジェクト研究

研究のねらい

授業改善を具体化するために、全教職員で授業研究に段階的に取り組むプロセスを一層充実させ、授業研究の日常化へ向けた取組等を明らかにする。



研究内容

- みんなで授業をつくっていくための模擬授業の工夫
- 具体的な改善策を生み出すためのワークショップ型授業検討会の工夫
- 授業研究に関する研修における教職員の意識の把握

研究方法

- 授業研究実践校 8 校との共同実践

20

模擬授業の工夫 1

教員全員が子ども役になり、授業者が研究授業の流れで模擬授業をしていくパターン



21

模擬授業の課題と解決策例

教員全員が子ども役になり、授業者が研究授業の流れで模擬授業をしていくパターン

模擬授業の時間確保



- 模擬授業のビデオを活用した意見の集約
- 学年部や教科部等少人数での模擬授業の実施

22

模擬授業の工夫 2

教員全員が子ども役で模擬授業をした後に、ワークショップ型の模擬授業分析をしていくパターン



付箋紙を使ったワークショップ型の模擬授業分析を行っている様子

23

模擬授業のパターン例

子ども役と客観的に授業を分析する役を兼ね、ワークショップ型の模擬授業分析をしていくパターン

- 子ども役と客観的に分析する役に分かれた模擬授業
- 授業を止めながら参加者でつくっていくストップモーション方式の模擬授業

付箋紙を使ったワークショップ型の模擬授業分析を行っている様子

24

模擬授業のよさの共有

教員の意識

自分の授業でも子どもの立場で考えられるようになった。

授業をイメージしていたので、授業検討会で建設的な意見を出しやすかった。

模擬授業のよさ

- 研究授業のねらいや意図を明確につかむことにより、授業の流れを具体的にイメージし、参加者全員で授業をつくることができる。
- 子どもの立場で授業を構想することにより、子どもの思考の流れをつかむことができる。
- 授業参観の視点を明確にもつことにより、授業者と同じ立場で主体的に研究授業や授業検討会に臨むことができる。

25

ワークショップ型授業検討会における課題

課題を整理しながら、改善策まで結び付けていくのは大変だ。

意見の出っぱなしで、最後のまとめがはっきりしない。

26

ワークショップ型授業検討会の実践例 1

全てのグループの話題が共通になるように、Aという焦点化した視点で話し合ってみてください。

授業者

司会進行役の教員

27

ワークショップ型授業検討会の実践例 2

各グループの発表で出された短冊を並べ替え、改善点を焦点化している場面

授業者

司会進行役の教員

28

ワークショップ型授業検討会の三段階

ホップ段階 自由闊達に授業について意見を述べ合う段階

- 付箋紙やワークシートを用いた活動的な場づくり
- 授業検討の視点に沿った話し合い

ステップ段階 授業の改善点を絞り込み、共有化する段階

- 意見の分類・整理、研究授業の改善点の絞り込み
- 各グループで話し合った研究授業の改善点の共有化

ジャンプ段階 日常の授業に生かす改善策を考える段階

- 日常の授業に生かす改善策の生み出し
- 改善策を効果のあるものにするための手立ての具体化

日常の授業改善へ

29

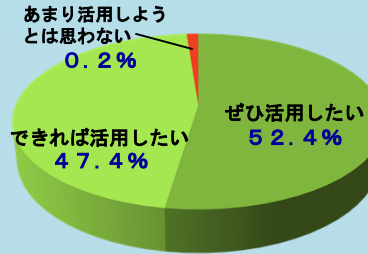
ワークショップ型授業検討会の展開例

ワークショップ型授業検討会
(授業研究実践校の事例)

30

「授業研究」についての意識 1

Q1 教育センターの提案する「授業研究」を活用してみたいですか？

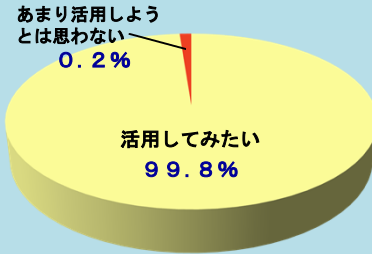


平成24年4～10月
対象者：456人

31

「授業研究」についての意識 1

Q1 教育センターの提案する「授業研究」を活用してみたいですか？

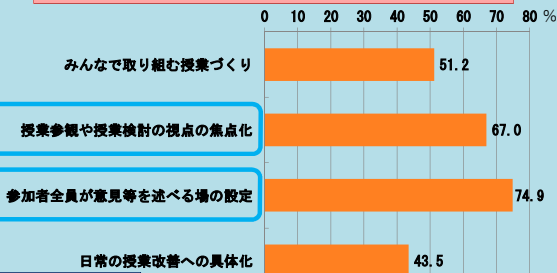


平成24年4～10月
対象者：456人

32

「授業研究」についての意識 2

Q2 教育センターの提案する「授業研究」で、活用してみたいことは何ですか？（複数回答）



平成24年4～10月
対象者：456人

33

今後のプロジェクト研究の方向性

- 模擬授業やワークショップ型授業検討会等の更なる工夫改善
- 教員の意識の変容を基にした授業研究のモデルの構築

34

